

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.9</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00			<b>3.3</b>
1.1 騒音		3.0	0.49	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.49	3.9	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2以上の遮音性能を採用	3.0	0.96	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	戸境壁間仕切り仕様をDr-50とした	4.0	0.02	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.01	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.01	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.03	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		1.0	0.37	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>1.2</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00			<b>2.9</b>
3.1 昼光利用		1.8	0.31	3.0	0.50			
1 昼光率		1.0	0.58	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.42	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.28	4.0	0.50			
1 昼光制御	カーテン及び庇の組合せで制御	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.27	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.4</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.59	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.39	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.49	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.02	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.49	3.0	0.33			
4.3 運用管理		1.0	0.03	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.3</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.9	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	1人当たりの執務スペースが14.086㎡	5.0	0.01	-	-			
2 高度情報通信設備対応	100Mbit クラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備	1.0	0.01	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の基準(望ましいレベル)を満たす	4.0	0.98	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.9	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観	洋室の天井高さ2.5m以上	1.0	0.04	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		2.0	0.02	-	-			
3 内装計画		3.0	0.94	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、汚水排水CIP(A)、雑排水CIP(A)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.04	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	基準階高2.97m	3.0	1.00	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.96	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域に開放された屋上広場や道路沿いに緑地を設け、地域性に配慮した。	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.66	3.2	0.20	-	-	3.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.50 住宅(専有部) 0.86	5.0	0.50	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	5.0	0.13	-	-	
		集合住宅の評価(3c)	5.0	0.87	-	-	
		住宅専有部の一次エネルギー消費率=0.86					
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	-	-	-	-	
		4.1 モニタリング	-	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
		集合住宅の評価	3.0	1.00	-	-	
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のデティール及びGL工法を採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
		1 消火剤	-	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=64%	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
		1 騒音	3.0	1.00	-	-	
		2 振動	-	-	-	-	
		3 悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
		3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	
		2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	
		広告物照明を行っていない					